

連絡先	自動車局 審査・リコール課 リコール監理室 TEL 03-5253-8111 内線 42361 アドレス: http://www.mlit.go.jp
-----	--

リコール届出一覧表

リコール届出日：令和5年4月6日

リコール届出番号	5304	リコール開始日	令和5年4月7日
届出者の氏名又は名称	トヨタ自動車株式会社 問い合わせ先： 執行役員・社長 佐藤 恒治 トヨタお客様相談センター TEL 0800-700-7700		
不具合の部位（部品名）	①灯火装置（前照灯用制御コンピュータ） ②座席ベルト（バックル取付部） ③走行装置（ディスクホイール）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	①運転支援装置のAHS*において、制御プログラムが不適切なため、走行用前照灯（ハイビーム）が自動消灯の直後に再点灯する場合、配光制御ができなくなることがある。そのため、警告メッセージが表示し、ハイビームが点灯しなくなるおそれがある。 ※アダプティブハイビームシステム：周辺環境と運転状況に応じて、ハイビームの配光を制御し、前方視界確保を補助するシステム ②後部左用座席ベルトのバックルにおいて、保持構造が不適切なため、座席内部に落ち込んで座席リクライニングができなくなることがある。その状態でリクライニング操作を行うと、バックルが損傷して当該座席ベルトが正しくロックできず、最悪の場合、走行中にベルトが外れるおそれがある。 ③スチール製ディスクホイールにおいて、プレス設備の管理が不適切なため、ディスクが形状不良となり、リムとの溶接強度が不足しているものがある。そのため、溶接部に亀裂が生じ、最悪の場合、ディスクホイールが破損するおそれがある。		
改善措置の内容	①全車両、前照灯用制御コンピュータのプログラムを対策仕様に修正する。 ②全車両、車台番号を確認するとともに、一部車両に対しては、バックル取付部の保持用バンドを点検し、対象となる場合は当該バンドを対策品に、バックルを新品に交換する。 ③全車両、ディスクホイールの製造番号を点検し、該当する場合は良品と交換する。		
不具合件数	①81件 ②5件 ③0件	事故の有無	①②③無し
発見の動機	①②市場からの情報による。③仕入先からの情報による。		
自動車使用者及び自動車特定整備事業者等に周知させるための措置	・使用者：ダイレクトメール等で通知する。 ・自動車特定整備事業者等：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・弊社のインターネットホームページに掲載する。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 の範囲及び製作期間	リコール 対象車の台数	備考	
トヨタ	5BA-MXPC10G	「シエンタ」	MXPC10-1006484～MXPC10-1007370 令和 4年10月 4日～令和 4年10月11日	189	①、②、③	
			MXPC10-1000003～MXPC10-1016844 令和 4年 6月15日～令和 5年 1月 9日	4,807	①、②	
			MXPC10-1006478～MXPC10-1007363 令和 4年10月 4日～令和 4年10月11日	281	①、③	
			MXPC10-1006485～MXPC10-1007371 令和 4年10月 4日～令和 4年10月11日	104	②、③	
			MXPC10-1000002～MXPC10-1016843 令和 4年 6月15日～令和 5年 1月 9日	7,213	①	
			MXPC10-1000005～MXPC10-1024179 令和 4年 6月15日～令和 5年 3月 6日	4,945	②	
			MXPC10-1006477～MXPC10-1007356 令和 4年10月 4日～令和 4年10月11日	113	③	
	5BA-MXPC12G			MXPC12-1000139～MXPC12-1000174 令和 4年10月 5日～令和 4年10月10日	6	①、③
				MXPC12-1000000～MXPC12-1000498 令和 4年 6月15日～令和 4年12月28日	87	①
				MXPC12-1000135～MXPC12-1000179 令和 4年10月 4日～令和 4年10月11日	38	③
	6AA-MXPL10G			MXPL10-1010168～MXPL10-1011586 令和 4年10月 4日～令和 4年10月11日	279	①、②、③
				MXPL10-1000004～MXPL10-1028271 令和 4年 6月15日～令和 5年 1月 9日	9,588	①、②
				MXPL10-1010167～MXPL10-1011599 令和 4年10月 4日～令和 4年10月11日	390	①、③
				MXPL10-1010170～MXPL10-1011583 令和 4年10月 4日～令和 4年10月11日	123	②、③
				MXPL10-1000005～MXPL10-1028272 令和 4年 6月15日～令和 5年 1月 9日	13,987	①
				MXPL10-1000000～MXPL10-1041563 令和 4年 6月15日～令和 5年 3月 6日	7,915	②
				MXPL10-1010171～MXPL10-1011588 令和 4年10月 4日～令和 4年10月11日	131	③
	6AA-MXPL12G			MXPL12-1000080～MXPL12-1000093 令和 4年10月 6日～令和 4年10月11日	5	①、③
				MXPL12-1000000～MXPL12-1000255 令和 4年 6月15日～令和 5年 1月 9日	116	①
				MXPL12-1000081～MXPL12-1000092 令和 4年10月 6日～令和 4年10月10日	9	③

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
トヨタ	6AA-MXPL15G	「シエンタ」	MXPL15-1002141～MXPL15-1002421 令和 4年10月 4日～令和 4年10月11日	62	①、②、③
			MXPL15-1000000～MXPL15-1005587 令和 4年 6月15日～令和 5年 1月 9日	2,060	①、②
			MXPL15-1002138～MXPL15-1002417 令和 4年10月 4日～令和 4年10月11日	61	①、③
			MXPL15-1002145～MXPL15-1002413 令和 4年10月 4日～令和 4年10月11日	22	②、③
			MXPL15-1000001～MXPL15-1005583 令和 4年 6月15日～令和 5年 1月 9日	2,550	①
			MXPL15-1000021～MXPL15-1008393 令和 4年 7月26日～令和 5年 3月 6日	1,906	②
			MXPL15-1002151～MXPL15-1002399 令和 4年10月 4日～令和 4年10月10日	20	③
6AA-AZSH30	「クラウン」	AZSH30-6000001～AZSH30-6000003 令和 4年 6月15日	2	①	
6AA-AZSH35		AZSH35-4000000～AZSH35-4006444 令和 4年 9月 1日～令和 5年 1月10日	4,835		
		AZSH35-6000004～AZSH35-6003081 令和 4年 6月15日～令和 5年 1月 9日	2,441		
5AA-TZSH35		TZSH35-4000000～TZSH35-4002627 令和 4年10月10日～令和 4年12月28日	2,622		
			TZSH35-6000000～TZSH35-6000920 令和 4年 6月15日～令和 4年12月27日	921	
	(計 8 型式)	(計 2 車種)	(製作期間の全体の範囲) 令和 4年 6月15日～令和 5年 3月 6日	(計67,828台)	

① 52,502台

② 32,000台

③ 1,833台

(内数) ①+② 16,455台

(内数) ①+③ 743台

(内数) ②+③ 249台

(内数) ①+②+③ 530台

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。